

地域おこし協力隊

東通村

活動レポート



協力隊期間を無事修了した亀尾さん④



首都圏で東通村をPRする亀尾さん



今回の協力隊活動レポートは、令和8年1月4日をもって、東通村地域おこし協力隊の任期を修了した亀尾 喬さんについてご紹介したいと思います。

亀尾さんは、令和5年1月に東通村としては初めてとなる地域おこし協力隊に委嘱されました。ミッションは「本州最北東端の地域で移動販売×みまもりのプロデューサー」で、買い物支援車わんつCARの仕組みづくりから運行経路等の構築までを担っていただきました。

買い物支援車わんつCARは、「地域の見守り」を主軸に、見守りが必要な方や買い物に困りごとを抱える方を支援するために令和4年度に誕生したもので、個人の見守りから地域の見守りを行うために導入されました。

亀尾隊員は、村内を駆け回り、沢山の方との交流や意見交換を交えながら、どうすれば地域の方々に利用していただけるのか。どうしたら見守りに繋がるのか。試行錯誤を重ねながら現在のわんつCARを作り上げました。

3年という長いようで短い期間でしたが、たくさん地域のために活動していただきました。

令和7年10月には、所属団体の「東通東風塾」の代表理事になり、11月には未利用魚の加工を行う会社「J A A P A (じゃっぱ)」を立ち上げました。

これからも亀尾さんは、地域の活性化や新たな取り組みに挑戦しつづけてくれることを願っています。

今後も、東通村地域おこし協力隊OBとなりました亀尾さんの動向にご注目いただけますと幸いです。